



マダラ（本州太平洋北部系群*） ①

マダラは北日本に広く分布し、そのうち本系群は本州太平洋北部沿岸に分布する。本系群の漁獲や資源量等の数値は漁期年（4月～3月）を示す。

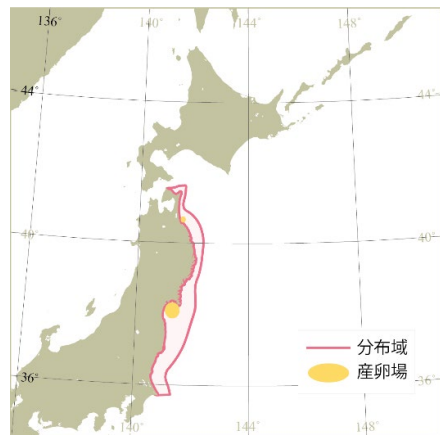


図1 分布図

水深40～550 mに分布し、季節的な浅深移動を行う。本系群は青森県以南・茨城県以北の本州太平洋沿岸に分布する。

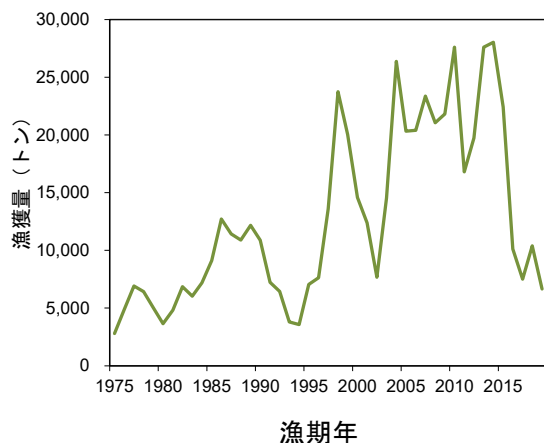


図2 漁獲量の推移

漁獲量には変動が大きい。近年では、2011、2012年に震災の影響で減少したが、2013、2014年には2.8万トン前後を記録した。その後減少し、2016年には1万トン、2019年には7千トンとなっている。

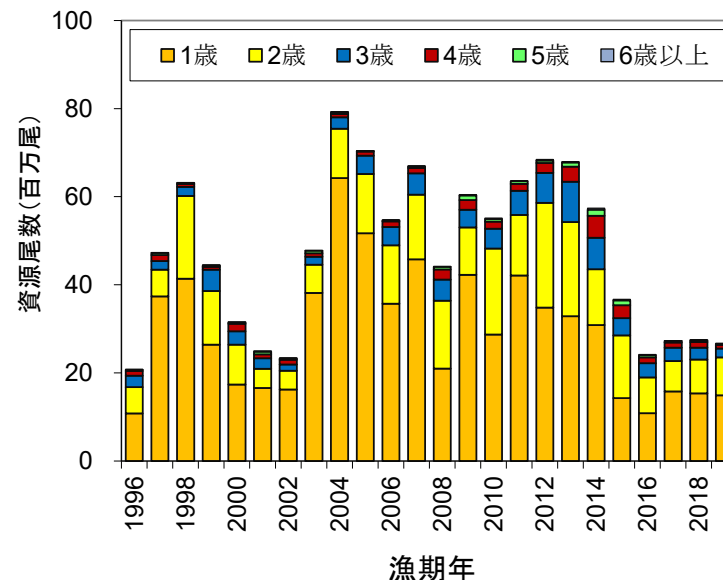


図3 年齢別資源尾数

資源尾数は、2002年から2014年にかけて比較的多く、その後急激に減少した。2017～2019年は2700万尾前後であった。

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案などを示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における太平洋北部系群を指す。

マダラ（本州太平洋北部系群*） ②

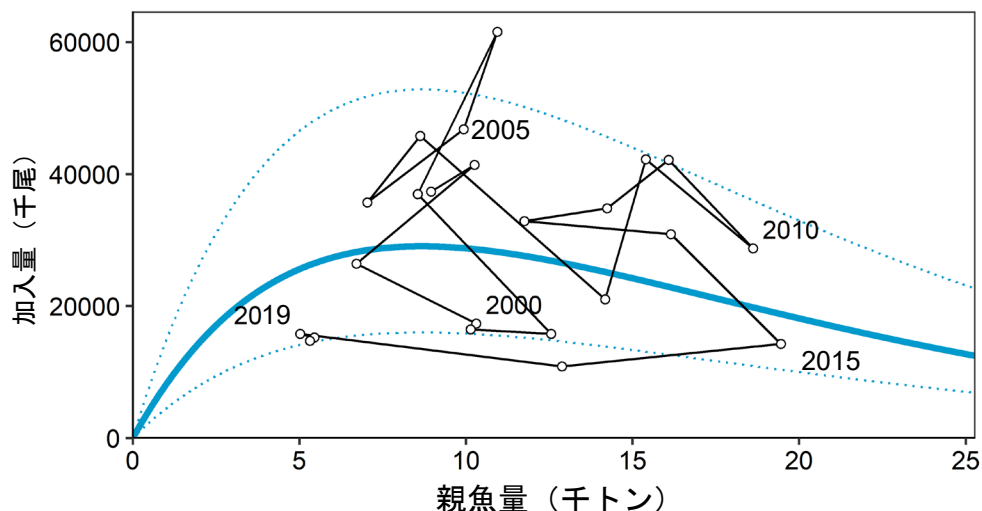


図4 再生産関係

1996～2018年の親魚量と翌年の加入量に対し、リッカー型再生産関係（青太線：中央値、青点線：90%信頼区間）を適用した。

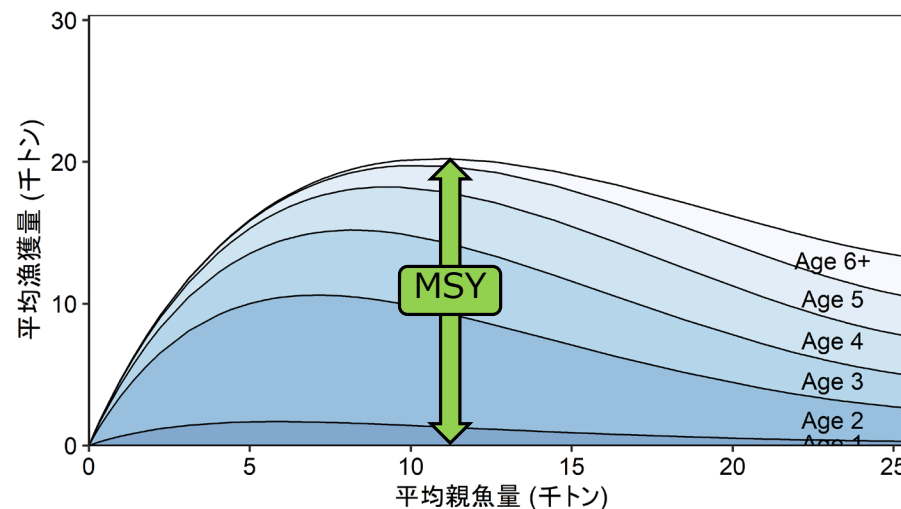


図5 年齢別漁獲曲線

最大持続生産量（MSY）を実現する親魚量（SBmsy）は10.9千トンと算定される。

MSYを実現する親魚量	2019年の親魚量	MSY
10.9千トン	3.9千トン	20.2千トン

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案など示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における太平洋北部系群を指す。

マダラ (本州太平洋北部系群*) ③

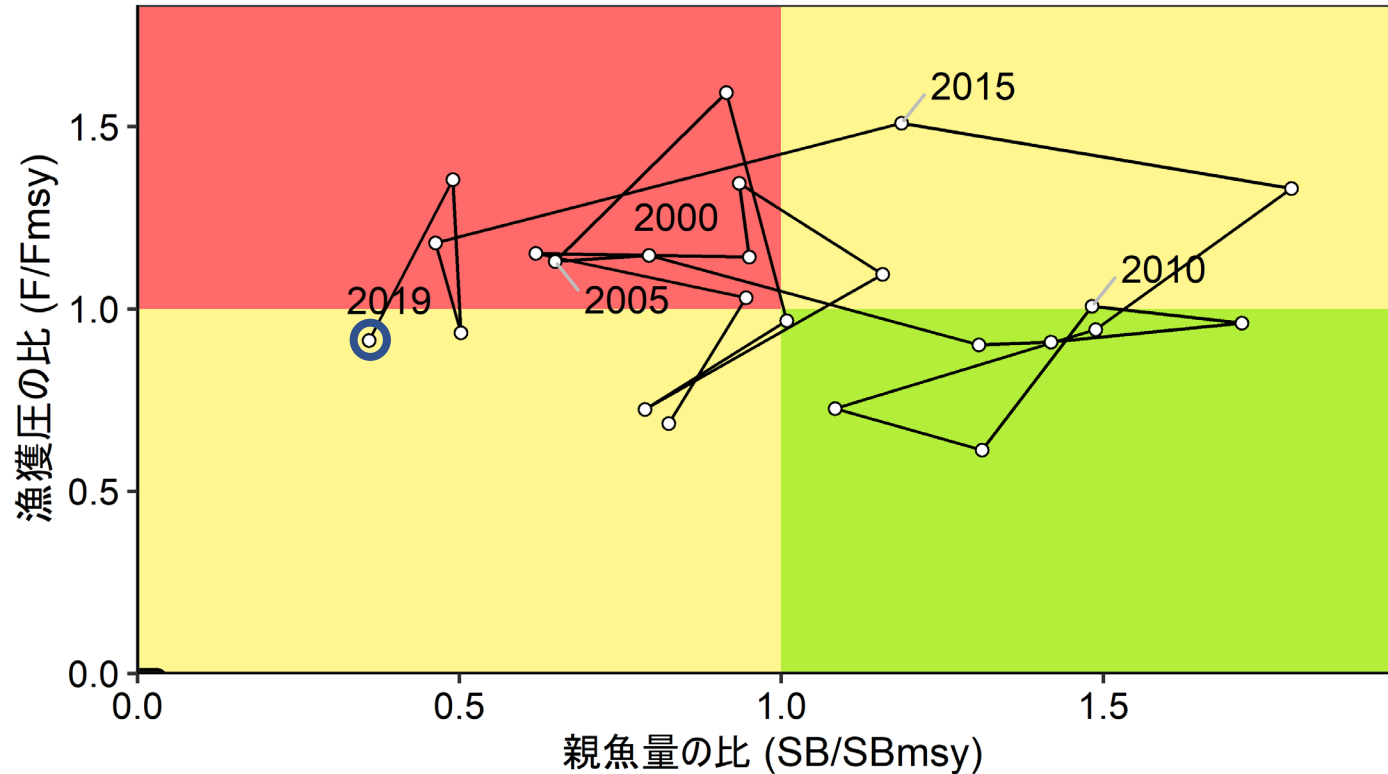


図6 神戸プロット(神戸チャート)

漁獲圧 (F) は、1996年以降、約半数の年で最大持続生産量 (MSY) を実現する漁獲圧 (F_{msy}) を上回っており、2019年はわずかに下回っている。親魚量は2007年から2009年にMSYを実現する親魚量 (SB_{msy}) を上回っていたが、2016年以降は下回っている。

本資料は神戸プロットまでを示した暫定版であり、管理基準値案や漁獲管理規則案など示した完成版については、令和3年度の資源評価会議後（7月以降）に公表する見込みである。

*本系群は令和2年度資源評価における太平洋北部系群を指す。